

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 165 6月号

2019年6月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館



読書と私 No.155

「かわちどり号」

揖保川町 光森 聡子

私が移動図書館車・かわちどり号と出会ったのは、今から4年前。息子がこども園から帰るちょうどその時間にかわちどり号はやって来ました。その車は子どもが喜ぶ楽しいデザインで、子どもはまず車に食いつきます！そして、運転手さんと司書さんが利用できるようセッティングしてくれるまでの時間は、子どももお母さんも、うずうずして待ちきれません。今回はどんな本と出会えるかな？と期待に胸膨らみます。

やっぱり誰もが、かわちどり号の中には入ってしまうもの。中は絵本が中心に並んでおり、子どもが見やすいようにレイアウトしてあります。絵本に囲まれる空間は、大人も子どもも大興奮です！本を選ぶ時間は本当に贅沢な気分になります。移動図書館は本を1ヶ月と長く借りられ、ゆっくりと読むことができます。また、貸出の手続きも子どもが自分で行い、1人でできた！と“はじめてのおつかい”のように子どもは大満足です。

かわちどり号で出会った司書さんは、息子が気に入ったシリーズの絵本を次回までに用意してくれました。また、小学校に通う娘に、学年と娘の好みに合った本を見つけてくれました。おかげで子どもは継続的に本を読み親しんでくれるようになりました。司書さんに親身を選書していただいたことで、我が家ではより本が身近になりました。そして本の魅力を再発見した私がその後、まさか本に関係する仕事に就くとは思ってもよらなかったです。かわちどり号との出会いは、我が家にとって特別なものになりました。

小学生になった子どもは、学校にかわちどり号が来る日を今も楽しみにしています。
暑い日も寒い日もいつも喜びを与えてくれるかわちどり号、本当にありがとう！

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。





本書は37年間の出版社勤務のほぼ全てを辞書編集者としてすごした著者が、日本語とどのように向き合い、辞書という具体的な形に仕上げたかについて述べたものである。

著者が最も長くかかわったのは、日本最大の国語辞典『日本国語大辞典』(全13巻)の第2版の編集である。執筆者は、漢語、宗教、中世、近現代などの各専門家をメインに構成され、編集者が裏方として加わる。辞書に掲載する用例採取のための文献を選定し、その用例が語釈執筆の基礎資料となるが、用例は可能な限りそのことばが使われた最も古い例を載せるという。著者が担当したのは、用例が適切か原典に当たり直す「出典検討」である。専門家の書いたものを信じないというのではなく、古典の場合は写本によって内容が異なるか

らで、60人程の大学院生を使って原典に当たるのだが、著者が人生の中で一番勉強した時代と振り返る。引用文献3万、用例数100万、50万項目の10年を費やした辞書編集は、ひたすら語彙の採集・用例探し・ゲラ(校正刷り)に目を通す(校正だけでも6回以上!)作業から成っている。

また、西日本と東日本の方言の違いから語釈が変わった「スコップ」と「シャベル」の記述や、漢和辞典の字体についていつも有益な指摘をしてくる服役囚の話、「布団をひく」という誤用がなぜ広まったのかなど、ユニークなエピソードが紹介されている。

徹底して正確を期す厳しさの上に成り立つ辞書という出版物への信頼が増し、一見無味乾燥に見える辞書にかける人々の真摯で熱い思いが伝わってくる。(御津図書館 大西)

トピックス

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館・揖保川図書館

こどもの読書週間記念行事

「一日図書館員」でこんな仕事をしました!

5月2日(木・祝)、5日(日)、6日(月・祝)に新宮図書館と揖保川図書館で「一日図書館員」として、小学5年生から高校2年生までの子どもたちに図書館の仕事を体験してもらいました。その内容を紹介します!

【仕事内容】掃除・書架整理・返本・本の装備・カウンター業務・POP作成 他

【感想】★書架整理など図書館の様々な工夫がみられて嬉しかった。それがあるから図書館を便利に使えるんだな。

★カウンター業務は大変だったけど楽しかった。

★今後図書館を利用するときには、今までとは違う視点で見ようと思う。



※夏休みには、龍野図書館・御津図書館で「一日図書館員」を募集します。

体験してみたい小学5年生から高校3年生はぜひ応募してくださいね!

図書館からのお願い

梅雨の時期になると本が雨で濡れてしまうことが多々あります。

本は水に弱く、濡れたまま放置しているとシワや破れの原因になる他、カビの発生にも繋がります。

本をカバンに入れたり、ビニールを被せるなど、本が濡れてしまわないようご協力をお願いします。



『ウィリアムのこねこ』

マージョリー・フラック ぶん・え まさき りりこ やく 新風舎



4歳の男の子ウィリアムが遊んでいると1匹のこねこがつかれてきました。ウィリアムが、気付いて、なでてやるとこねこ

は「ミャー、ミャー」としか言えませんでした。朝からウィリアムはずっとこねこを遊ばせました。昼になるとお兄さんのチャールズとお姉さんのナンシーが家に帰ってきました。お昼ごはんの匂いを嗅ぎつけたこねこが「ミャー、ミャーウ」と鳴いたのでみんなは、このこねこがお腹をすかせたまいごのこねこだと気付きました。こねこにミルクをやるとピチャピチャとなめてみんな飲んでしまいました。

それからウィリアムたち3人は、飼い主を探すために、こねこを連れて警察署へ行

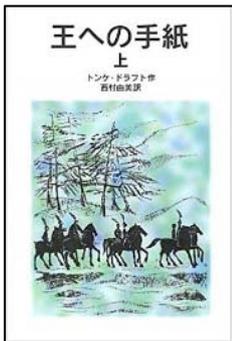
きました。署長さんが調べると、そのこねこは3回もまいごになっていましたが、元の飼い主たちはみんな、まいごのこねこを見つけたごほうびに、ウィリアムにそのこねこをゆずると言いました。ウィリアムたちは、こねこを家に連れて帰り、ピーターと名付け、大事にめんどうをみたので、それからはまいごになりませんでした。ピーターがウィリアムの家に来て1年が過ぎ、もう大人のねこになりました。そしてある日、ウィリアムがかごの中を覗いてみるとピーターは3匹のこねこのお母さんになっていました。

ウィリアムがピーターに一生懸命愛情を注いで世話をする様子が温かみのある絵で丁寧に表現されています。

読んであげるなら4歳くらいから。

(揖保川図書館 河部)

『王への手紙 上・下』 トンケ・ドラフト 作 西村 由美 訳 岩波書店



16歳の見習い騎士ティウリは礼拝堂で祈りを捧げていた。見習い騎士は4年に一度、正式に騎士になることができる。ただし、式の前夜は礼拝堂にこもり、食べることも口をきくことも許されず、一夜を過

ごす掟があった。

真夜中、ドアを叩く音がした。ティウリは、開けたら騎士になることは叶わないとためらったが、「神の御名においてドアを開けよ！」という差し迫った声に心を決めドアを開ける。現れた老人は、ティウリに国の命運がかかった手紙を遠方の宿にいる騎士に渡すよう依頼するが、訪ね当てた騎士は、何者かに襲われ死に至る傷を負っていた。騎士はティウリに、自分に代わって、この手紙を早急に隣国の王へ届けるよう懇願する。ティウ

リは騎士の名誉にかけて届けると誓ったが、武器はなく、盗賊に襲われるなど、道は困難を極める。さらにティウリが崖道で命がけで助けた男は、実はティウリを狙う刺客だった。

一方、正義を信じる騎士や城主との出会いが彼の旅を助けた。とりわけ大山脈を越える案内人となった少年ピアックは、ティウリが囚われそうになった時、「あれ（手紙）はここにある！ぼくが引き受けた！」と偽りを叫び身代りになるなど、命懸けでティウリを支え、2人の絆は深まっていく。苦難の末、隣国の王のもとへたどり着いたティウリは任務を果たした。

多くの人たちに助けられたからこそ任務を全うできたことや、騎士の本分は剣や盾を身に着け、強い武力を持つことではないと気付いたティウリの成長が清々しい。12歳くらいから。

(新宮図書館 勝谷)



6月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

15日(土)
11時～11時20分
『くだもの』他

揖保川図書館

【対象】1～2歳児、保護者

1日(土)・20日(木) 10時30分～10時45分
『ぼつ ぼつ ぼつ』他

【対象】3～4歳児、保護者

8日(土)・15日(土) 10時30分～10時50分
『ゆかいなかえる』他

新宮図書館

改修工事のため、
6月のえほんのじかんは、お休みします。

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

9日(日)・16日(日) 11時～11時20分
『からすのせっけん』他

【対象】5歳児～

9日(日)・16日(日) 11時30分～11時50分
『王さまと九人のきょうだい』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

改修工事のため、
6月のおはなしのじかんは、お休みします。

揖保川図書館

1日(土)・8日(土)・15日(土)
11時～11時30分
「三人兄弟」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

14日(金)
10時～11時30分
『夜と霧』
ヴィクトール・E・フランクル 著

揖保川図書館

7日(金)
10時～12時
「忍ぶ川」
三浦 哲郎 著

御津図書館

19日(水)
13時30分～15時30分
『白砂』
かぶらぎ れん
鍋木 蓮 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

13日(木) 10時～11時30分
『ゲド戦記 I 影との戦い』アーシュラ・K・ルニグウィン 著



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

児童展示 雨にうたういきもの

もうすぐ夏がやってきます。『ゆかいなかえる』『しのだけむらのやぶがっこう』『ふたりはともだち』など、さまざまな場所にいる、元気ないきものたちの生活をのぞいてみましょう。

【期間】6月29日まで

新宮図書館

和の世界

書道、武道、茶道、華道をはじめ、日本建築、和食、着物、大和言葉など、各分野の和に関する本を集めました。

【期間】6月30日まで

揖保川図書館

身体と向きあう

季節の変わり目に入り、体調を崩しやすい時期です。健康や運動、食べ物やリラクゼーションなどの本を紹介します。生活習慣を見直し、心身を整え、気分転換してみませんか？

【期間】6月30日まで

御津図書館

動物小説

ペットというより、もはや家族。犬に猫に小鳥…。勇気や励ましをくれる話、動物の目線で語られる小説、無力だから切ないのかもしれない、どこか懐かしい、生き物たちの小説を集めました。

【期間】6月29日まで